

「第6回 ケニア総選挙に向けた ナイロビ邦人安全対策連絡協議会」

日時 : 平成29年9月18日(月) 15:00~16:00
場所 : 在ケニア日本国大使館・大会議室

【次第】

1. 開会のあいさつ
2. 今後の大統領選挙情勢について
3. 治安情勢・安全対策について
4. 質疑応答

～ケニア日本人会・在ケニア日本国大使館 共催～

【再選挙決定後の動向】

1 独立選挙委員会(IEBC)

(1) 10月17日(火)を大統領再選挙とする発表を行った。しかし、投票者の人定事項照合及び投票結果の電子送信を行う機器(KIEMS)のシステムの再設定に時間がかかるため、再選挙の延期が発表される可能性があることを各紙は報道。

(2) 再選挙を司るプロジェクト・チームをIEBC委員長が独断で決定し、発表したことに関し、他の委員や事務局員から反発が起き、また内部文書が外部に漏洩する事態が発生。しかし、11日に会合を行った結果、委員長の下で一丸となって再選挙に臨むことを発表した。

【注】9月21日、独立選挙委員会(IEBC)は、大統領再選挙の日程に関し、20日の最高裁判決を受け、同判決を満たすべく、投票日を10月17日(火)から10月26日(木)に変更することを発表した。

2 与党

- (1) IEBCが発表した再選挙の日程を支持。
- (2) 野党／元野党側政治家の取り込みに成功している。

3 NASA

- (1) 再選挙日程に対する異議を表明。IEBCの人事刷新及び電子システムの検査・変更がない限り、同日の再選挙は認めず、日程を後ろ倒しすべきと主張。
- (2) アイザック・ルト前ボメット郡知事及びピーター・ムニャ前メルー郡知事が、ケニヤッタ大統領支持を表明。

4 最高裁

判決全文を未公表(22日(金)までに公表予定)。

【治安情勢・安全対策】

1. 9月13日スポット情報発出

2. 9月4日～本日までの治安情勢

- (1) 与野党両陣営とも各地で集会を開催
- (2) 9月13日: キスムで与野党支持者による衝突
- (3) 9月22日までに最高裁判決

3. 今後の治安情勢

- (1) 治安悪化が予想される時期

資料のとおり

- (2) 治安悪化が予想される地域

キスム、ナイロビ、モンバサ

- (3) 8月8日投票の大統領選挙との比較

ア 与野党サポーターによる暴力的な衝突が発生する可能性。

イ 一般治安が悪化する可能性。

4. 当館からの情報提供

引き続き、領事メール、緊急SMS等で、最新の治安情報を在留邦人に提供予定。

5. 現在の在留邦人の行動基準

(1)現在の行動基準

レベル1:十分注意

対応:各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

(2)お願い

ア 備蓄の補充

イ 有事に備えた緊急事態時の持ち出し携行品の確認。

6. 今後の予定

(1)「第4回ナイロビ邦人安全対策連絡会(全在留邦人対象)」

9月23日(土)午前9時30分～午前11時、当館大ホールでの開催を予定。

(2)「第7回ナイロビ邦人安全対策連絡協議会(8代表者出席)」

10月2日(月)午後3時～午後4時、当館大会議室での開催を予定。 以上